

「糖尿病」 第6期保健医療計画の行動計画

項目	対 策	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
<p>予 防 の 推 進</p>	<p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣の改善を啓発 ○ 食育を推進 	<p>(栄養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育応援店の拡大やイベントを実施する ・職域へバランス食、野菜摂取の向上、減塩などの啓発を行う出前講座を実施する ・学校へ食生活改善推進員が出向いて行う「食育講座」を実施する <p>(運動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等による健康づくりにおける運動の効果等の健康教育を実施する ・市町村が行うウォーキング大会の運営を支援する <p>(喫煙)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院受診時や健診など、あらゆる機会に禁煙についての声掛けを実施する ・保健指導実施者が禁煙につ 				

		いての保健指導の徹底を図る ・世界禁煙デーのイベントやテレビ等による啓発を行う (飲酒) ・適正飲酒・休肝日の普及啓発(教材やメディア等による広報、健診や保健指導)				
健診の促進	(保険者) ○ 特定健康診査の受診の促進 ○ 健診後に、糖尿病あるいはその疑いがある者について保健指導を実施。必要に応じて、かかりつけ医や専門医療機関への受診を促進 ○ 健診未受信者に対して受診を促す	・受診への呼びかけ(保険者、団体、メディア、教材の活用) ・医療機関受診時にかかりつけ医から特定健診を勧める ・保健指導実施者の人材育成(県全体や福祉保健所での研修会・担当者会の開催予定) ・情報誌等による特定保健指導利用についての啓発を行う	H26 年度以降：かかりつけ医による健診の定着			
糖尿病の	(県、市町村、医師会、歯科医師会) 市町村主体の行事等を通じて、糖尿病の専門医師による講演の実施	(県) 毎年、年度当初に市町村に対し、啓発への講師派遣の周知を図る。報償費の予算化。 (医師会) 随時、講師名簿の更新を実施する。				

知識の普及		(県) 室戸健康大学における講演を継続して実施する。(毎年、前期・後期各1回) H25 年度前期(H25.4.20 決定)、後期 (H25.9~H26.3 実施)				
	(県、医師会、歯科医師会) 公開講座などを実施	(医師会) 市民公開講座を継続して開催する。				
		(歯科医師会) ○糖尿病と歯周病に関する講演会やイベント開催、マスコミを通じた知識の普及啓発を実施する。 ○県民フォーラム等の公開講座の開催、世界糖尿病デーのイベントへの参加、高知医療センターと高知市歯科医師会との共催研修会を検討する。 ○「歯っぴいスマイルフェア」を継続して開催する。(平成 25 年度は 6/2or6/9)				
	(県) ○ 広報紙、ラジオ、テレビを活用した県民への広報	(県) 積極的な後援を行う。				
	(県) ラジオ広報(15 分×10 回) H25.5~H26.2 で毎月 1 回実施	メディア等を活用した継続的な広報を行う。				
	○ 職域における啓発活動の実施	(県) 毎年、大規模企業等に対して照会を行う。 *JA 南国 (約 120 名) にて実施することが決定済み				
保健と	(保険者) ○ 特定健診で「要医療」、「要精密検査」となった者に対し、医療機関の受診を促進	・紹介状を発行するなど医療機関への受診勧奨を行う ・精密検査結果や受診状況の				

医療の連携	○ 受診結果や受診状況を把握し、生活指導を行い、治療中断を防ぐ。	確認、生活についての保健指導を実施する				
	(県) 保険者と医療機関の連携を図るため、意見交換会など情報交換の場の構築を目指す。	・各福祉保健所による情報交換等の取組を実施する(医療機関訪問や会議開催など)				
医療体制	(医師会) かかりつけ医と専門医に対して、合併症治療機関の紹介・逆紹介を促し連携を図る。	(医師会) 地域連携を進めるため症例検討会を行い、地域の医療機関のレベルアップを図る。				
	(県、医師会) 県糖尿病療養指導士の制度の創設を目指す。	(県、医師会) 制度創設に向けて準備会を立ち上げる。H25.6講演開催。	(県、医師会) 制度の開始予定			
	(県、医師会、関係団体) 糖尿病研究会やセミナーを通じて多職種連携体制の構築を図る。	(県) H25 年度:「糖尿病における質の高い看護師育成研修」事業を実施する。(20名、40日間)	(県) H26 年度以降:研修事業の継続のため予算計上を検討する。			
	(医師会) クリニカルパスについて、連携のツールとして検討する。	(医師会) クリニカルパスの充実と拡大を目標とする。				
	(医師会、歯科医師会) 糖尿病患者に対する積極的な歯科健診の受診を勧奨する。	(歯科医師会) ○講演会を開催し、歯科医師会員全体のスキルアップを図る。 ○日本糖尿病協会登録歯科医師数を拡大する。「糖尿病と歯周病」に関する専門医的な人材の育成を行う。 ○糖尿病が疑われる患者の糖尿病専門医への紹介システムを構築する。				

		<ul style="list-style-type: none"> ○歯科診療所における血糖値測定の検討する。 ○糖尿病チーム医療への参画を強化する。 ○デンタルパスポートの見直しを実施する。 ○医科歯科間の情報提供書を作成する。 				
	<p>(栄養士会、県、医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管理栄養士の育成・指導を実施。 ○ 管理栄養士を配置していない医療機関からの要請に対し、派遣体制の整備に取り組む。 	<p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の実態を把握し、医療機関や養成施設等と連携し、研修の充実を支援する。 	<p>(県) H27年度以降～、医療機関、保険者の連携のもと、栄養士会・NPO等による継続実施をめざす。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・診療所への栄養士派遣モデル地区を拡大し、栄養指導が受けられる仕組みづくりを行う。 				
		<p>(栄養士会)</p> <p>H25年度：研修を4回開催してスキルアップを行い、活動できる栄養士を育てる。</p> <p>活動していない管理栄養士の掘り起こしを行う。</p>				